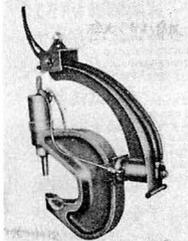
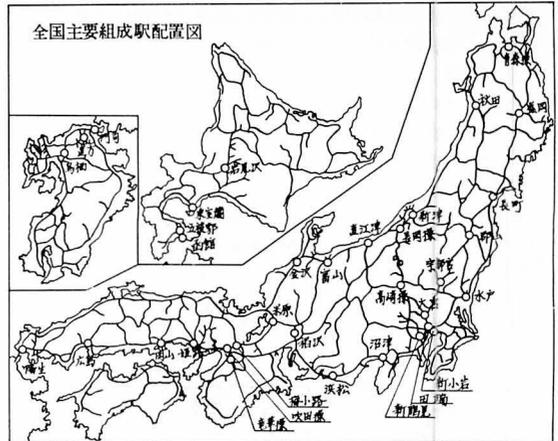


そこわくびょうじめき 底わくびょう締機 (英) foundation

ring rivetter 機関車ボイラの底わく部のリベット打ちを専門に行う液圧式プレスで、機械本体と圧力発生装置から成立している。本体は写真に示すようにつりさげて移動できる構造で、圧力発生装置はポンプと蓄圧器からなり設置される。発生液圧は高圧ホースを通じて本体に伝達されるものである。最近では蓄圧器の不要な、構造の簡単なものができる。底わく部は火室に接しているので変形しやすく、水もれのおそれが多いため、この部分のリベット打ちは非常に重要である。本機は液圧式であるため、その音がないばかりで無く加圧力が大きいので、リベットが確実に固定され安全性が高い。加圧力の最大は75tのほか数種類ある。(山本 稔)



底わくびょう締機



そせいいはん 組成違反 組立駅において列車を組成する場合には、種々の規定や制限等にしがわなければならない。これらの規定や制約に違反することを、組成違反という。組成違反が行われると安全・迅速・確実なる輸送を行うことができなことはもちろんであるが、重大事故を起こす原因ともなるので厳重に禁止している。重大事故に至らなくとも、組成違反によって種々の事故の原因となることは、しばしばある。(内田富彦)

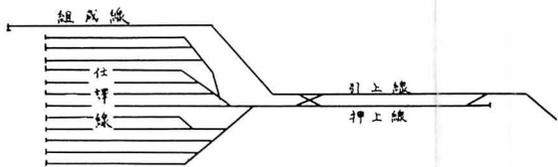
そせいえき 組成駅 (英) train making-up station (独) Zug-

bildungsbahnhof 列車を仕立てて出発させるいわゆる仕立駅はもちろんであるが、さらに必ずしも新しい列車を仕立てなくとも、列車の組替をするために相当の設備を設けてある駅をもいう。主要幹線においては70~80kmごとに組成駅を設けている。組成駅は作業を行う列車の種類によって旅客列車組成駅、貨物列車組成駅ということもあるが、一般には貨物列車についてとくに使用されている。国鉄においては列車組成駅を組立駅ともいっている。組立駅は列車の組成・貨車連結順序の整理、および付属中間駅発着貨車の輸送手配をするところで、国鉄においては貨物輸送手続によって、鉄道管理局別に主要組立駅を指定している。主要組立駅としては岩見沢、室蘭、函館、五稜郭、秋田、青森操車場、盛岡、郡山、長町、長岡操車場、新津、直江津、高崎操車場、宇都宮、水戸、新小岩、新鶴見、大宮、田端、沼津、浜松、稲沢、米原、金沢、富山、梅小路、吹田操車場、姫路、竜華操車場、岡山操車場、広島、幡生、門司、鳥栖、直方等であって、これ以外の組立駅が必要な場合は鉄道管理局が指定することになっている。組成駅は列車出発のつどつぎの組成駅に、その列車の内容を速報しなければならない。ただしつぎの組立駅が解結禁止または通過扱であるときは、そのつぎの組成駅に通報することになっている。この通報は組成駅が列車到着以前に、つぎに到着すべき列車の姿を知ることによって、到着列車の作業計画を立てるのに必要であって、まちがいに通報されなくてはならない。近時通信設備の発達により、大組成駅間(たとえば大宮操・新鶴見操間)にテレタイプを用いて、その完べきを期している。つぎに組成駅における貨物列車組立作業の一端をのべると、貨物列車を組立てる貨車の連結位置は一定の基準により行っており、一般に最も近距離行の貨車を前部とし、以下到着距離の近いものから駅順に配列組成することになっている。ただし組成駅間において貨物の積卸をする代用車は別にこれを一群として、列車の後部または指定の位置に連結する。また停車時間の関係等により、これによれな

い場合は、つぎの組立駅以遠の貨車を後部に連結する。中継車は中継着とみなし連結順序を決定する。貨物列車は以上のような貨車の連結順序により組成されるが、貨車は行先駅・急送品とその他等が一車ごとにまちまちであって行先別・連結列車別に、各駅の貨車はまとまらないので、これをどの列車にでも勝手に連結しては、列車計画が成り立たないのみならず、不経済となるので、国鉄においては貨車は相当車数を先行区分に集結できる場合は、集結輸送しなければならぬことになっている。このため集結責任駅を指定し、集結責任駅は責任車数を集結して組成駅の作業を助ける。したがってこの集結指定区間以外に行く貨車は、集結指定以外の列車により輸送しなくてはならない。集結責任駅は集結責任列車出発のつど、その集結現車数および集結換算両数を ① 集結責任車数以上連結している場合は、つぎの集結責任駅 ② 集結責任車数に達しないときはつぎの組立駅にそれぞれ報告しなくてはならない。またこの報告を受けた駅は①の場合はその駅で準備した集結区間行貨車について別途速達の方法を講じ②の場合は補充の手配をする必要がある。以上のように貨物輸送は組成駅を中心として行われている。→組立駅。(森垣常夫)

そせいせん 組成線 (英) train making-up track 貨車操車場

その他組成駅における操車線の一部であって、仕訳線で仕訳けられた貨車を引出し、一列車を編成するために使用する側線をいう。方向別仕訳線あるいは駅別仕訳線に区間別、あるいは



駅別に仕訳られた貨車を引上げ、後部に緩急車・代用車等を連結し出発線にすえつける作業を組成作業といい、大きな操車場ではこの作業のために仕訳線・引出線のほかに組成線を有しているが、一般には引出線と仕訳線の頭部あるいは空いている仕訳線等を利用して組成作業を行っていることが多い。(半谷哲夫)

ソーダせんじょうそうち ソーダ洗じょう装置 油や塵あい等で汚損した車両部分品を、加修や検査が容易なように洗じょうする装置で、通常装入される品物に応じた大きさに作られる